

コロナはこれから  
どうなるのか

2021/05/09

DEEP ACID

# 目次

■はじめに

■コロナは今まで何をしてきたか

□医療問題

□経済問題

□教育問題

□社会・政治

■これまでの総括

■コロナはこれからどうなるか

□医療問題

□経済問題

□教育問題

□社会・政治

■終わりに

# ■はじめに

- 未来を予測するための思考実験

これまでのパンデミックをはじめとした自然災害の歴史から未来を考える。

民主主義にせよ、資本主義にせよ、一部のエリートだけが考え、国民に指示を出すやり方では追いつかない。国民一人一人が考え、発言し、行動しなければならない時代（例えば、緊急事態宣言が出ていなくても、会社が出社命令を出してもリモートワークを続ける、など）。そのための思考実験。

# ■ 医療問題

## ➤ 医療現場ひっ迫

- ワクチンが登場するまで1年(本来は数年かかる)  
→ 今度はワクチンの安全性に対する議論
- 無症状者が感染を広げる(social distancingの難しい社会環境)  
→ 微量の放射能同様、(個人ごとの)危険と安全の境界が分かっていない
- 「コロナは風邪」とは何か  
→ 科学が解明されていない問題にSNSが噂を増長する→陰謀論参照
- 変異株

SARSの場合、強毒化して(感染者が亡くなってしまったため)感染が落ち着いた。ただし、COVID-19が同じ道を辿るかは不明。

# ■ 医療問題

- スペイン風邪

100年前のスペイン風邪では、第一次世界大戦と重なって感染拡大しており、戦禍による（兵士往来による）感染拡大、（戦争負傷者による）医療体制崩壊により被害が拡大した。

いずれにせよ、戦死者以上に感染死者が多かったとされる。

# ■ 医療問題

## ➤ ワクチン開発

- 大国が開発、途上国競争へ(中国、ロシア、イギリス、アメリカ、ベルギー)  
→ 接種の不平等問題

- ワクチンは危険か  
理由：臨床試験が不十分（陰謀論では接種者の遺伝子書換えの危険性を指摘するが、それなら種苗法改正の議論が先）  
→ 一方で、医療従事者の安全を守り、医療崩壊を防ぐためには必須。

そして、欧米で(ワクチン接種普及により)感染対策を緩め始め  
ている。

# ■ 経済問題

## ➤ エssenシャルワーカー

- ・ 医療従事者、スーパーマーケット、ゴミ収集、etc.

緊急事態宣言、ロックダウン下でもステイホームせずに働く人々  
→ リモートワークができず危険に晒されている(差別問題にも)

## ➤ 飲食、観光、エンタメ業界 (感染拡大防止のため、国や自治体が休業

要請)

- ・ 支援金問題

→ ロックダウンした国は十分に補償していた(ロックダウンを民主主義上の危機と捉えた反対デモはあったが、経済的困窮を理由としたデモは寡聞にして聞かない)

## ➤ リモートワーク

通勤ラッシュが解消されない日本

→ 日本はなぜリモートワークが進まない？

# ■教育問題

## ➤オンライン教育

- ・教育格差拡大 = デジタルディバイド
- ・学生の貧困 → 弱者全体の貧困

## ➤人と接触しないことの影響

- ・孤立化する高齢者（孤独死）、学生（将来的な対人関係）



# ■社会、政治

## ➤差別、陰謀論

- 政治不信(SNSだけが原因ではない、SNSはあくまでも拡散ツール)
- 不安（科学で分からないことなどいくらでもある、そのために私たちは歴史を学んできた）
- 科学の隙間に入り込む新しい宗教(第2のオウムにならないよう監視する必要がある)

cf. トランプ支持派の母体はキリスト教福音派

# ■社会、政治

## ➤社会の分断

コロナ以前から分断は始まっていたが、感染拡大で一層広がり、かつ多様化した。

- 人種
- デジタル
- 接種した人、していない人
- 医療従事者

## ➤民主主義対共産主義 = 感染防止が経済と並ぶ非軍事的対立競争の火種に

- トランプ騒動との相乗効果
- 止まらない中国の非民主化拡大 + 日本でも入管問題

→実際には欧米圏でも監視強化が進んでいる（Facebook問題）。

## ■環境問題

- 中国の化学兵器が漏れ出した、との陰謀論があるが、歴史的に何度もパンデミックは存在しており、事実かどうかに関係なく、パンデミックの原因を他者に責を負わせることは無意味。
- シベリア凍土から新たなウイルスが発見されており、拡散させないことが肝要。
- 家畜に感染すると、今度は食糧問題になる（鳥インフルエンザ）

## ■これまでの総括

- 正体分からないものへの不安
- 政治不信が拍車をかける

コロナはこれからどうなるのか

# ■ 医療問題

- 医療現場  
ワクチン接種普及でいったん落ち着くが、変異株の登場で再度感染拡大はしばらく続く。ただし、死亡率が高い変異が起こると、ウイルス自体が人体と一緒に死ぬため、それによって収束していく(SARSはそれで落ち着いた)。
- インドや大阪で感染爆発の一方、欧米がワクチン接種の浸透で規制解除、通常社会に戻りつつある（もちろん再拡大の余地がないわけではなく、様子見）。
- ワクチンの効果  
重症化は防ぐが、感染そのものの抑止には効果はないとされる。

# ■ 経済問題

## ➤ 業界再編

- 食文化でも、エンタメ文化でも、否応なく変化を求められる時代だが、そんなことは過去にもたくさんあった。例えば音楽で、録音メディアや放送メディアが登場したときにたくさんの人が失業したと思うが、音楽文化はちゃんと生き延びている。

音楽：今後は宅録系がメインストリームに

食文化：個食文化が拡大

# ■教育問題

- 子どもたちの将来

子どもたちが活躍できない未来になったら、自ずと国力は衰退する。私たちも、政府も同じように真剣に考えるべき。間違っても教育の不平等が発生するようなことがあってはならない。



## ■社会、政治

- 分断問題
- 非民主化問題→共産国に限らず、欧米でもテクノロジーによる監視強化が進む（むしろ共産圏のあからさまな人民監視より、民間企業によるポリシーの定まらない情報収集の方が将来的にどう悪用されるか分からない点で気味が悪い）。

## ■終わりに

- 分断を解消し、多様化を進める→コロナに関係なく、コミュニティのあり方を考え直す時期に来ている（SNSの音声化、動画化、アーカイブからストリーム方式に）。

分断が進むと、階級や人種間で居住場所が制限されたり、そうしたエリア間で小競り合いになるなどの社会不安に陥る。

- 科学と同じように、歴史から学べ

人類の進歩に「分からない」は当たり前。そんなことは大昔からあったわけで、それをどうやって乗り越えてきたかを学び、考えるべき。